



# 有斐閣

専門書・研究書のご案内

経済・経営分野  
人文・社会分野  
～ 2014 年秋～

\*近年、有斐閣より発行いたしました専門書・研究書を、分野ごとにまとめ、一覧にしてご案内いたします。

(注) 執筆者等の肩書きは、刊行時の表記となっております。

\*ご注文は、お近くの生協・書店様へ、お願いいたします。

同封の「注文書」に、①お名前、②ご連絡先、③ご希望商品の数、をご記入の上、生協・書店様にお持ちください。

この機会に、ぜひ、ご購入をご検討いただければ幸いです。  
ご注文、お待ちしております。

有斐閣営業部 TEL : 03-3265-6811

おおがきまさお たなかさおり  
大垣昌夫・田中沙織 著

慶應義塾大学教授・国際電気通信基礎技術研究所専任研究員

# 行動経済学

伝統的経済学との統合による新しい経済学を目指して

A5判並製カバー付  
280頁

●2,400円+税

978-4-641-16426-0

行動経済学と伝統的経済学それぞれの有用性と限界を、最新の実験研究や神経経済学の成果から明らかにし、「人間本位の経済学」の構築をめざす。人間の非合理性に焦点を当てるだけでなく、利他性や文化・規範の役割についても考える、初めての体系的テキスト。

《主な目次》

第Ⅰ部 行動経済学と神経経済学

第1章 行動経済学とは何か？

第2章 神経経済学とは何か？

第Ⅱ部 プロスペクト理論と限定合理性

第3章 不確実性下の経済行動

第4章 プロスペクト理論

第5章 限定合理性

第Ⅲ部 時間割引と社会的選好

第6章 時間を通じた行動

第7章 学習理論と神経経済学の実験

第8章 社会的選好

第Ⅳ部 行動経済学のフロンティア

第9章 文化とアイデンティティ

第10章 幸福の経済学

第11章 規範行動経済学

## 碩学が語るゲーム理論の歴史

(2014年4月)

すずきみつお  
鈴木光男 著

東京工業大学名誉教授

# ゲーム理論のあゆみ

四六判並製カバー付  
262頁

●2,400円+税

978-4-641-16430-7

社会科学に共通する基本的な分析ツールとなりつつあるゲーム理論。その誕生から現在までを時代背景とともに、ゲーム理論家たちの思索の跡をたどる。日本で初めて本格的にゲーム理論を研究・教育してきた著者が、自らの経験と苦悩も交え、柔らかな筆致で描き出す。

《主な目次》

第1章 古き代のゲームの理論

第2章 ゲームの理論の誕生

第3章 オーストリア学派の思想——1930年前後のウィーン

第4章 ゲームの理論の成立までのヨーロッパの情勢

第5章 ゲームの理論の成立

第6章 高まる期待——数学と社会科学の架け橋

第7章 新しい展開から批判の時代へ——1950年代

第8章 新しい可能性の探求——1960年代

第9章 発展の広がり時期——1970年代

第10章 飛躍の時代——1980年代

第11章 新しい時代へ——1990年以後

## 社会問題としての自殺に，実証分析から挑む

(2013年6月)

さわだ やすゆき うへだ みちこ まつばやし てつや  
澤田康幸・上田路子・松林哲也 著

東京大学教授・シラキュース大学リサーチ・アシスタント・プロフェッサー・ノーステキサス大学アシスタント・プロフェッサー

# 自殺のない社会へ

経済学・政治学からのエビデンスに基づくアプローチ

A5判並製力バー付  
238頁

●2,300円+税

978-4-641-17391-0

自殺を，精神疾患などの直接的な原因だけではなく，社会・経済問題として捉え，緻密な調査と実証分析からその要因を明らかにする。エビデンス・ベースの視点から，これまでの対策の評価と効果的な対策の見極め・実践に向けた展望を提示！ 第56回日経・経済図書文化賞受賞。

《主な目次》

序章 政策課題としての自殺対策

第1章 なぜ自殺対策が必要なのか？

第2章 自殺の社会経済的要因

第3章 自然災害と自殺——日本の都道府県データによる分析

第4章 政治イデオロギーと自殺——OECD諸国の国際比較データによる分析

第5章 経済・福祉政策と自殺——日本の都道府県データによる分析

第6章 自殺対策の運用と成果

終章 エビデンスに基づく自殺対策を目指して

## 政策に成否が生ずるのはなぜか？

(2013年12月)

おおの けんいち  
大野健一 著

政策研究大学院大学教授

# 産業政策のつくり方

アジアのベストプラクティスに学ぶ

A5判並製力バー付  
374頁

●2,900円+税

978-4-641-16418-5

産業戦略が成功したり失敗するのはなぜか。政策の質を高め，実行し，成果をきちんとあげるにはどうしたらよいのか。政策学習をキーワードに，アジア，アフリカの現地当事者たちとの対話を通じて蓄積した事例より，日本にも参考となる政策のHOWを導き出す。

《主な目次》

はじめに

第1部 総論

第1章 開発のわな

第2章 グローバル化時代の産業政策

第3章 プロアクティブな産業政策

第4章 政策の手順と組織

第2部 ケーススタディー

第5章 シンガポール——国民生産性運動

第6章 台湾——イノベーションの推進

第7章 マレーシア——上位中所得のわなからの脱出

付論 インドの産業政策

第8章 ベトナム——質の伴わない成長

第9章 エチオピア——成長と構造転換のためのプラン

参考文献／あとがき

# クリエイティブ産業の新たな役割と可能性を探究

(2013年5月)

ごとうかずこ  
後藤和子 著  
埼玉大学教授

## クリエイティブ産業の経済学

契約, 著作権, 税制のインセンティブ設計

A 5判上製カバー付  
280頁  
●3,600円+税  
978-4-641-16409-3

ゲームやアニメに代表されるコンテンツ産業のみならず、文化産業を含み、地域経済の再生や雇用創出のための担い手として注目を集めるクリエイティブ産業——工芸産業や農村・地方都市における展開にも踏み込み、契約と産業組織の視点からまとめあげる待望作。

### 《主な目次》

- 序章 クリエイティブ産業をめぐる課題と理論的展開
- 第1章 クリエイティブ産業と都市：東京都におけるクリエイティブ産業の集積
- 第2章 創造性と都市政策：文化政策と産業政策の融合
- 第3章 著作権制度におけるインセンティブと公共基盤：契約と産業組織の視点から
- 第4章 政策課税としての文化税制：その理論的根拠とインパクト
- 第5章 創造性とイノベーションを促進する税制：オランダにおけるボックス課税導入の背景とその評価
- 第6章 グローバル時代のNPO・寄付税制：国境を越える寄付とグローバル・タックスの視点から
- 第7章 寄付税制の国際比較
- 第8章 工芸産業の新たな展開：伝統とイノベーション
- 終章 農村と地方都市におけるクリエイティブ産業発展の可能性

# 圧巻の理論的研究

(2014年3月)

まつもと むつみ  
松本 睦 著  
立命館大学教授

## 租税競争の経済学

資本税競争と公共要素の理論

A 5判上製カバー付  
250頁  
●3,600円+税  
978-4-641-16428-4

地域間の租税をめぐる競争は結局どのような状態に帰結するのだろうか——発展著しい理論研究の成果を包括的にサーベイし、公共サービス・公共要素に関わるモデル分析を徹底して行う。体系的な理解を促しつつ、地方分権化の意味を明らかにする渾身作。

### 《主な目次》

- 序章 租税競争の重要性
- 第I部 租税競争の理論——資本税競争を中心として
  - 第1章 ZMWモデルと租税競争理論の展開
  - 第2章 地域規模の影響と非同質地域間の租税競争
  - 第3章 複数の税が利用可能なケース
  - 第4章 地域間人口移動
  - 第5章 租税競争以外の非効率要因を含むモデル
  - 第6章 政府間財政移転と地域間協調
- 第II部 資本税競争と公共要素
  - 第7章 租税競争文献における公共要素の研究
  - 第8章 ZMモデルと地方公共要素
  - 第9章 公共要素の分類
  - 第10章 租税競争と要素貢献型・企業貢献型公共要素
  - 第11章 企業貢献型公共要素と混雑現象
  - 第12章 資本助成としての不払い費用型公表要素の供給
  - 第13章 地方公共財・公共要素の支出構成
  - 第14章 要素特殊の公共要素の支出構成
  - 第15章 租税競争に参加する地域数の内生化
  - 第16章 地域的な経済格差と租税競争：財政移転 vs. 公共投資

# 土建国家の出現とその統治システム

(2014年5月)

企画編集 井手英策・諸富 徹・小西砂千夫

井手英策 編

慶應義塾大学教授

## 日本財政の現代史 I

土建国家の時代 1960～85年

四六判並製力バー付  
326頁

●2,800円+税

978-4-641-16441-3

公共投資、減税、小さな政府の組合せは、高度経済成長期の統治メカニズムであった。石油危機後、それが立ちゆかなくなった後に出現する土建国家のシステムを丹念に分析。経済成長が鈍化するなか、国債発行によって減税政策と公共投資が支えられ、財政赤字が恒常化していく。

《主な目次》

序章 統治の全体像としての「土建国家」(井手英策) / 財政運営①: 第1章 均衡財政から赤字財政へ(谷達彦・井手英策) / 財政運営②: 第2章 「増税なき財政再建」へ至る道(村松 怜) / 税制: 第3章 減税税制と経済成長路線(島村玲雄) / 公共投資: 第4章 公共投資と国土計画(宮崎雅人) / 財政投融资: 第5章 戦後財政投融资の機能と限界(宋宇・井手英策) / 環境政策: 第6章 環境・エネルギー問題による財政の変化(佐藤一光) / 社会保障: 第7章 土建国家形成期の社会保障(永廣顕) / 地方財政: 第8章 地方財源統制システムの強化と変容(高端正幸) / 国際比較: 第9章 ドイツ・フランスの福祉国家への分岐(小西杏奈・嶋田崇治) / 経済・社会構造: 第10章 農山村の変容と公共事業(沼尾波子) / 「構造」としての日本財政: 第11章 土建国家と国際政治(嶋田崇治・茂住政一郎) / 終章 土建国家への道はこうして準備された(井手英策)

# 財政学が見抜くバブル経済と「失われた10年」の本質

(2014年6月)

企画編集 井手英策・諸富 徹・小西砂千夫

諸富 徹 編

京都大学教授

## 日本財政の現代史 II

バブルとその崩壊 1986～2000年

四六判並製力バー付  
364頁

●3,000円+税

978-4-641-16444-4

バブル経済とその崩壊はなぜ起こり、「失われた10年」を導いてしまったのか。そのプロセスにおいて日本の財政、そして政治・経済・社会はどのように変質していったのか。制度や政策の動向と文脈を解明し、その実像をいきいきと描き出して、現代の難問に答える。

《主な目次》

序章 バブル生成と崩壊は日本財政にどのような影響を与えたのか(諸富徹) / 財政運営①: 第1章 マクロ財政・金融政策の経済理論と思想(野口剛) / 財政運営②: 第2章 予算編成過程の変容(河音琢郎) / 税制: 第3章 バブル経済下の税制改革(藤貴子・川勝健志) / 公共投資: 第4章 公共投資財政の転換(門野圭司) / 財政投融资: 第5章 「土建国家」を支える政策金融の終焉(水上啓吾) / 環境政策: 第6章 大量廃棄社会の限界と残像(八木信一) / 社会保障: 第7章 再編期の社会保障(吉田健三) / 地方財政: 第8章 集権と分権の狭間(田尾真一) / 国際比較①: 第9章 付加価値税の導入過程と逆説的性格(篠田剛) / 国際比較②: 第10章 大都市の経済社会と広域行財政(片山和希) / 国際比較③: 第11章 地方債制度・市場のあり方(三宅裕樹) / 「構造」としての日本財政: 第12章 日米構造協議と財政赤字の形成(天羽正継) / 終章 日本財政にとっての転換点(諸富徹)

# 財政学が見抜く小泉構造改革の本質

(2014年5月)

企画編集 井手英策・諸富 徹・小西砂千夫

小西砂千夫 編

関西学院大学教授

## 日本財政の現代史Ⅲ

構造改革とその行き詰まり 2001年～

四六判並製カバー付  
362頁

●3,000円+税

978-4-641-16442-0

小泉政権による構造改革以降、政権交代を経て、日本の財政、そして政治・経済・社会はどのように変質し、またいま変わろうとしているのか。制度や政策の動向と文脈を解明し、その実像をいきいきと描き出して、現代の難問に答える。

《主な目次》

序章 構造改革とその行き詰まりの時代における財政運営（小西砂千夫）／財政運営①：第1章 自公連立政権下の財政運営（木村佳弘）／財政運営②：第2章 政権交代以後の財政運営（佐藤滋）／税制①：第3章 迷走する税制改革（根岸陸人）／税制②：第4章 社会保障・税一体改革の実現と国・地方の財源配分（小西砂千夫）／公共投資：第5章 公共事業、不信と縮小の時代（吉弘憲介）／財政投融资：第6章 政策金融改革（木村佳弘）／環境政策：第7章 環境と財政のバースペクティブ（佐藤一光）／社会保障①：第8章 社会保障政策の展開過程（古市将人）／社会保障②：第9章 セーフティネットの動揺と社会保障改革（横山寛和）／地方財政①：第10章 小泉政権における地方分権改革と地方財政改革（細井雅代）／地方財政②：第11章 政権交代と地方分権改革（齊藤由里恵）／国際比較：第12章 北欧諸国の財政運営（倉地真太郎・古市将人）／経済・社会構造：第13章 震災復興と地方自治（佐々木伯朗）／「構造」としての日本財政：第14章 日銀の「非伝統的金融政策」と財政（土橋康人）／終章 政権交代と統治構造の揺らぎのなかで（小西砂千夫）

# 寛容な社会を支える財政へ

(2012年10月)

井手英策 著

慶應義塾大学准教授

## 財政赤字の淵源

寛容な社会の条件を考える

四六判上製カバー付  
310頁

●2,700円+税

978-4-641-16402-4

日本の財政赤字はどのようにして形成されたのか。歴史的アプローチからその原因と構造を明らかにする、渾身の作！ 今後必要なのは、福祉社会のための財源の創出、すなわち増税が可能となる寛容な社会である。人びとの信頼を支える財政システムを提言する。

《主な目次》

序章 なぜ巨額の財政赤字が生まれたのか——財政社会学の挑戦  
第Ⅰ部 財政の原型はどう作られたか  
第1章 日本財政の源流——金本位制度から管理通貨制度へ  
第2章 占領期の財政運営と大蔵省統制の確立  
第Ⅱ部 大蔵省統制と土建国家  
第3章 土建国家へ  
第4章 健全財政主義の黄昏  
第Ⅲ部 寛容な社会の条件  
第5章 変わりゆく社会、変えられない財政——激動の1990年代  
第6章 寛容な社会のための財政

みやもとけんいち つる たひろみ もろとみ とおる  
宮本憲一・鶴田廣巳・諸富 徹 編  
大阪市立大学名誉教授・関西大学教授・京都大学教授

# 現代租税の理論と思想

A5判並製力バー付  
380頁  
●4,200円+税  
978-4-641-16424-6

戦後から現在までの租税理論の思想や論議を、支出税の検討を中心に論じる。古典的支出税や、それ以前の支出・消費課税論の思想的起源に始まり、現代的支出税論争を経てマリーズ報告に至るまでをたどり、支出税を批判的に検討。税制改革への示唆を与える。

《主な目次》

はしがき	グローバリゼーションと租税国家の危機 (宮本憲一)
序章	現代の租税論をめぐって (諸富 徹)
第1部	支出税と所得税の交錯
第1章	支出税論の源流：ホップス・ミル・ビグー (菊地裕幸)
第2章	フィッシャーの「支出税」の特徴と意義 (松田有加)
第3章	カルドア「支出税」の理論と特徴 (高山 新)
第4章	ヴィックリーの支出税論 (宮本章史)
第5章	カーター報告の現代的意義 (藤 貴子)
第II部	現代支出税論の展開
第6章	アンドリュースによる「現代的支出税」構想 (諸富 徹)
第7章	ミード報告とイギリス型支出税 (川勝健志)
第8章	アメリカの消費ベース課税思想：1990年代以降の議論を中心に (吉弘憲介)
第9章	経済活動のグローバル化と法人課税：マリーズ・レビューを素材に (野口 剛)
第10章	現代付加価値税の論理と課題：マリーズ・レビューの検討を中心に (篠田 剛)
終章	課税ベースの選択と現代租税論の課題 (鶴田廣巳)

こにしさちお  
小西砂千夫 編著  
関西学院大学教授

# 市場と向き合う地方債

自由化と財政秩序維持のバランス

A5判並製力バー付  
238頁  
●2,800円+税  
978-4-641-16374-4

地方財政制度として積み上げてこられた制度運営の文脈の理解を重視しつつ、金融市場の動き方も直視して地方債を解説する。健全な地方債市場の育成を実現するために、地方財政のロジックと市場のロジックの統合を構想し、緻密に議論を積み上げる待望著。

《主な目次》

序章	市場と向き合うことの意味
第1章	地方債に関する疑問に答える
第2章	地方債市場の論理とパフォーマンス
第3章	償還財源を確保する仕組み：地方債の財政的側面
第4章	起債制限と自治体財政健全化法：個別団体における安全性を担保する仕組み
第5章	財政逼迫した自治体のパフォーマンスと地方債の安全性
第6章	自治体の財政診断の実際
第7章	地方債改革を求める論理とその妥当性
第8章	共同発行機関の必要性と地方公共団体金融機構の発足
第9章	自治体と金融市場・金融機関との信頼関係の構築
第10章	アメリカにおける地方債市場
終章	地方債制度のあり方：地方分権と財政秩序維持のバランス

たけだ はるひと  
武田晴人 編  
東京大学教授

# 高度成長期の日本経済

高成長実現の条件は何か

A 5判並製カバ付  
460頁  
●4,400円+税  
978-4-641-16368-3

1955~73年の日本経済を、産業構造、金融、景気循環、産業政策、インフラ、労働の諸側面から分析し、また当時のリーディング・インダストリの発展要因やそれを支えた流通や下請けのシステムの形成を明らかにして、高度経済成長のダイナミズムに迫る。

《主な目次》

- 序章 日本の高成長経済 = 武田晴人
- 第1章 需要構造と産業構造 = 平山勉
- 第2章 設備資金調達と都市銀行 = 宮崎忠恒
- 第3章 景気循環と景気対策 = 林采成
- 第4章 1960年代前半の産業政策 = 呂寅満
- 第5章 エネルギー供給体制と需要構造 = 小堀聡
- 第6章 「完全雇用」政策と労働市場の変容 = 榎一江
- 第7章 鉄鋼業 = 金容度
- 第8章 造船業 = 祖父江利衛
- 第9章 自動車工業 = 韓載香
- 第10章 流通 = 石井晋
- 第11章 中小企業 = 植田浩史

## 情報と通信はいかなる道を辿り融合したのか

(2011年5月)

たけだ はるひと  
武田晴人 編  
東京大学教授

# 日本の情報通信産業史

2つの世界から1つの世界へ

A 5判並製カバ付  
368頁  
●2,700円+税  
978-4-641-16377-5

戦後の初期の計算機から出発して、情報がやがて通信事業と融合する過程を描く通史。列車のチケットを予約したり、宅急便を送ったり等々普段当たり前のように使っている機能はいつからどのように始まったのか。特徴的なトピックとなった生き生きとしたケースも魅力的。

《主な目次》

- 第I部 通史篇
  - 第1章 2つの世界：通信とコンピュータ = 高橋清美
  - 第2章 出会いと融合：コンピュータと通信のクロスロード = 宇田理
  - 第3章 拡張と浸透：パソコンの登場とデジタル通信網の構築：1980~96年 = 池元有一
  - 第4章 1つの世界：インターネットによる情報処理と通信技術の結合 = 古谷真介
- 第II部 ケース篇
  - 第5章 国鉄の座席予約システム「マルス」：通信とコンピュータが融合した日本で最初の事例 = 高橋清美
  - 第6章 鉄鋼業の生産情報システムの構築 = 金子良事
  - 第7章 高度経済成長期の流通業の情報化：国産小型機の導入 = 池元有一
  - 第8章 全国地方銀行協会のオンライン・システムの開発過程：1966~68年 = 古谷真介
  - 第9章 ヤマト運輸の情報化：1968~93年 = 宇田理



さわい　みのる  
沢井　実　著  
大阪大学教授

# 近代大阪の産業発展

集積と多様性が育んだもの

A5判上製カバー付  
416頁

●5,500円+税

978-4-641-16407-9

大阪の代名詞「東洋のマンチェスター」「商都」では収まりきれない産業発展のプロセスについて、「機械工業」「雑貨産業」「公設試験研究機関」の視角から綿密に検証する労作。諸産業の集積と多様性を育み、アジアで先駆的に産業発展を遂げた姿を描き出す。

《主な目次》

序章 近代大阪における産業発展の諸相

第1部 機械工業の展開

第1章 明治中後期の機械工業／第2章 第1次世界大戦期の機械工業／第3章 1920年代の機械工業／第4章 1930年代の機械工業／第5章 戦時下における工場集積地の形成——大阪府布施市高井田地区の事例

第2部 輸出雑貨工業の展開

第6章 1910年代の輸出雑貨工業——ブラシ・貝ボタン・珙瑯鉄器／第7章 1920年代の輸出雑貨工業——齒ブラシ・貝ボタン・珙瑯鉄器／第8章 1930年代の輸出雑貨工業——齒ブラシ・貝ボタン・珙瑯鉄器

第3部 公設試験研究機関の活動

第9章 戦間期の大阪市立工業研究所／第10章 戦前・戦中期における大阪府立産業能率研究所と大阪府立工業奨励館／第11章 太平洋戦争後半期における大阪府生産増強推進隊の活動／付論 ある能率技師の戦前・戦中・戦後——園田理一の活動を中心に

終章 産業発展の諸条件——産業集積・製造問屋・公設試験研究機関

## 経営理念はどのように浸透し、個人にとってどのような意味をもつのか？

(2012年4月)

たか　およしあき　おう　えいえん  
高尾義明・王英燕 著  
首都大学東京教授、広島市立大学講師

# 経営理念の浸透

アイデンティティ・プロセスからの実証分析

A5判上製カバー付  
244頁

●3,600円+税

978-4-641-16395-9

近年の企業不祥事等の問題から、組織構成員の行動を律するひとつの指針として、経営理念とその組織への浸透が注目を集めている。組織アイデンティティ論を基礎に組織と個人の視点のダイナミズムを捉えた理論分析と、大規模調査による実証分析との両輪で、理念浸透のメカニズムとその意義を明らかにする。

《主な目次》

序章 経営理念浸透の探求に向けて

影響

第I部 経営理念浸透の複雑性

第III部 組織行動との関係の検証

第1章 理念浸透の研究アプローチ

第6章 組織市民行動との関係

第2章 理念浸透とその次元

第7章 革新志向と職務関与に及ぼす影響

第3章 理念への行動的関与

第II部 経営理念浸透のメカニズム

終章 経営理念浸透の複雑性とダイナミズム

第4章 他社の理念浸透との関係性

第5章 組織的施策の効果と職場要素の

## 職場での身近な関係が、個人と組織の活力を育む

(2013年2月)

すずき りゅうた  
鈴木竜太 著  
神戸大学准教授

# 関わりあう職場のマネジメント

四六判上製カバー付  
260頁  
●2,500円+税  
978-4-641-16403-1

人々が役割を超えて他者と助けあい、秩序を保ち、創意工夫する活力に溢れた組織は作れるのか。個人と組織をつなぐ「職場」に光を当て、その問題に答えを導く。これからの日本企業の組織のあり方を考えるための必読の書！ 第56回日経・経済図書文化賞、第30回組織学会高宮賞受賞。

### 《主な目次》

- 序章 支援・勤勉・創意工夫をもたらすマネジメント
- 第I部 関わりあう職場への注目
  - 第1章 職場で関わりあい、とことんやる：タマノイ酢のケース
  - 第2章 協働と秩序と自律：公共哲学の視点から
- 第II部 経営学における関わりあう職場のマネジメント
  - 第3章 上からのマネジメントと下からのマネジメント：経営管理論における位置づけ
  - 第4章 支援・勤勉・創意工夫をもたらすメカニズム：組織行動論における位置づけ
- 第III部 関わりあう職場のマネジメントの実証分析
  - 第5章 分析フレームワークと調査概要
  - 第6章 関わりあう職場と支援・勤勉行動
  - 第7章 関わりあう職場と創意工夫行動
- 終章 関わりあう職場とそれを育む組織

## 個人と組織が織りなす「社風」を測る

(2014年3月)

きたい あきら  
北居明 著  
大阪府立大学教授

# 学習を促す組織文化

マルチレベル・アプローチによる実証分析

A5判上製カバー付  
292頁  
●3,700円+税  
978-4-641-16413-0

どのような文化が組織全体のパフォーマンスを高めるのか？ 組織において学習を促進する文化に着目し、個人と組織にまたがる組織文化のダイナミズムをマルチレベル分析を用いて実証的に解明。組織学習による情報共有が必ずしも良い業績につながらない等の実践的な含意も導く。

### 《主な目次》

- 第1章 組織文化論の勃興——風土論と文化論の邂逅
- 第2章 「強い文化」論をめぐる諸議論
- 第3章 組織文化と成果の関係(I)——強度アプローチの検討
- 第4章 組織文化と成果の関係(II)——特性・類型アプローチの検討
- 第5章 組織文化と組織学習
- 第6章 マルチレベル分析の意義
- 第7章 マルチレベル分析の手法
- 第8章 「学習を促す組織文化」の実証分析
- 終章 組織文化の機能と組織学習  
——マルチレベル分析からの考察とインプリケーション
- 付録 組織文化の定量的研究リスト

## 組織・マネジメントをネットワーク論から読みとく

(2011年12月)

なかの つとむ  
中野 勉 著

青山学院大学教授

# ソーシャル・ネットワークと組織のダイナミクス

## 共感のマネジメント

四六判並製カバ付

322頁

●2,600円+税

978-4-641-16384-3

経済社会学・経営学組織論の理論的系譜にネットワーク組織論を位置づけ、その有用性をケースを通して論じていく。ヒエラルキー型の官僚制組織から、「評判」や「共感」を重視するインフォーマルなネットワーク組織へ、マネジメントに必要な組織観の変容を論じる。

### 《主な目次》

- 第1部 ソーシャル・ネットワークとは何か
- 第1章 現代社会におけるネットワーク
- 第2章 ネットワーク分析の特徴と捉え方
- 第3章 ネットワーク分析の基礎
- 第2部 マネジメント理論の展開——経営実務とソーシャル・ネットワーク
- 第4章 集団から組織へ
- 第5章 経営戦略と組織構造——マクロ的な視点から
- 第6章 市場の変化と企業の成長戦略
- 第7章 組織行動と調整メカニズム——ミクロの視点から
- 第3部 「ネットワーク型」組織の戦略的なデザイン——ミクロとマクロの統合へ
- 第8章 組織論から経済社会学へ——ヒエラルキーから「埋め込まれた関係」へ
- 第9章 グローバル競争時代における組織のデザイン——「ネットワーク型」の組織とは
- 第10章 マネジメントによるインフォーマル・ネットワーク活用術——6つのケースから
- 第11章 イノベーションを生むソーシャル・ネットワークとは——5つのケースから
- 第4部 組織、コミュニティとソーシャル・キャピタル
- 終章 ソーシャル・ネットワークと共感のマネジメント——結論に代えて

## 一橋大学日本企業研究センター研究叢書4

(2012年12月)

きつかわたけ お しまもと みのる すずきかつし つばやまゆうき ひらの そう  
橋川武郎・島本 実・鈴木健嗣・坪山雄樹・平野 創 著

一橋大学教授・一橋大学准教授・神戸大学准教授・新潟大学講師・成城大学専任講師

# 出光興産の自己革新

A5判上製カバ付

310頁

●3,300円+税

978-4-641-16401-7

バブル崩壊後、2兆円を超える有利子負債を抱えていた大企業、日産自動車・ダイエー・出光興産のうち、他企業・政府等から支援を受けずに自力回復を果たしたのは出光のみ。その過程で、どのような施策が、いかにして進められ、会社はどう変わっていったのか。

### 《主な目次》

- 第1章 有利子負債2兆5000億円からの復活
- 第2章 改革の財務的成果
- 第3章 出光の経営理念
- 第4章 自己革新の組織プロセス
- 第5章 出光石油化学の統合と企業連携——石油化学事業の再建
- 第6章 本業のリストラクチャリング——燃料油事業の環境適応
- 第7章 高機能材のイノベーション——電子材料・機能材料・アグリバイオの研究開発
- 第8章 グローバル企業への道——潤滑油事業・資源事業とグループの国際化
- 第9章 守り続ける文化の灯火——出光の文化事業と経営改革
- 第10章 自己革新のダイナミズム——本書の結論

## ポーター理論の謎に肉迫し、実践的理論を構築する (2012年4月)

かわい ただひこ  
河合忠彦 著  
中央大学教授

# ダイナミック競争戦略論・入門

ポーター理論の7つの謎を解いて学ぶ

四六判上製カバー付  
280頁  
●2,400円+税  
978-4-641-16396-6

経営戦略論で最も定着しているM. E. ポーターの理論を現代の視点で革新し、資源ベース論やブルー・オーシャン理論、クリステンセン理論など新しい理論を統合的にまとめ上げる。ダイナミックで実践的な競争戦略論の構築をめざし、ケースを交えいきいきと解説。

### 《主な目次》

- |                         |                                |
|-------------------------|--------------------------------|
| 第1章 ポーター理論の7つの謎         | 第3章 低価格と差別化の「ミックス戦略」           |
| 1. ポーター理論と現実とのギャップ      | 第4章 低価格と差別化の「両立戦略」             |
| 2. ポーター理論と7つの謎          | 第5章 競争戦略 (1)：コア低価格戦略           |
| 3. 本書の構成                | 第6章 競争戦略 (2)：コアミックス戦略とコア高差別化戦略 |
| 第2章 ポーター理論とRBV (資源ベース論) | 第7章 ダイナミック競争戦略論                |
| 1. SWOT分析               | 第8章 ダイナミック競争戦略の7原則             |
| 2. ポーター理論               | 補論 ブルー・オーシャン理論から“バ             |
| 3. RBV (資源ベース論)         | ーブル・オーシャン理論”へ                  |

## 経済成果をもたらす革新はいかに実現できるのか (2012年3月)

たけいし あきら あおしま やいち かるべ まさる  
武石 彰・青島矢一・軽部 大 著  
京都大学教授・一橋大学准教授・一橋大学准教授

# イノベーションの理由

資源動員の創造的正当化

四六判上製カバー付  
542頁  
●3,800円+税  
978-4-641-16392-8

イノベーション——その革新性と不確実性ゆえに社内外で理解を得ることは難しい。革新的なアイデアや技術を、いかに製品やサービスとして事業化し、経済的な価値をもたらす成功へと導くのか、大河内賞受賞のケースから明らかにする。第55回日経・経済図書文化賞受賞。

### 《主な目次》

- 分析・理論篇
- |                               |
|-------------------------------|
| 第1章 イノベーションはいかに実現されるのか        |
| 第2章 分析の題材：大河内賞受賞事例            |
| 第3章 大河内賞受賞事例にみるイノベーション実現のプロセス |
| 第4章 革新への資源動員の創造的正当化           |
| 第5章 イノベーションをいかに実現するか          |
| 第6章 さらなる理解に向けて                |
| 補論 既存の先行研究との関係                |
- 事例篇
- 事例1 花王／事例2 富士写真フイルム／事例3 オリンパス光学工業／事例4 三菱電機／事例5 セイコーエプソン／事例6 松下電子工業／事例7 東北パイオニア／事例8 荏原製作所

## 革新的なイノベーションを生み出すために

(2012年2月)

いくいねふみひこ  
生稲史彦 著  
筑波大学准教授

# 開発生産性のディレンマ

## デジタル化時代のイノベーション・パターン

A5判上製カバー付  
378頁  
●4,400円+税  
978-4-641-16387-4

ソフト産業にも製品のイノベーション・パターンがあるのか？ 革新的イノベーションが滞るのはなぜか？ 効率的に新製品を作ろうとする活動が真に新しい製品を生み出し難くするというパラドキシカルな現象を明らかにし、ゲームソフト産業のイノベーションの姿を浮き彫りにする。第29回組織学会高宮賞受賞。

### 《主な目次》

- 序章 知識が価値を生む時代に：本書の狙いと構成  
第1章 研究の立脚点  
第2章 イノベーション研究の方法  
第3章 ゲームソフト産業の変遷  
第4章 ゲームソフト産業で生じた変化  
第5章 ゲームソフト産業のイノベーション・パターン  
第6章 継承期の企業行動の検証  
第7章 開発生産性のディレンマ  
終章 結び ゲームソフト産業の事例が示唆すること  
補論1：ゲームソフト産業で活動する企業の姿／補論2：ゲームソフト企業に対するアンケート調査結果／付録1：アンケート調査単純集計結果／付録2：アンケート質問票  
参考文献

## 技術変化の激しい時代を生き抜くには？

(2011年2月)

なかがわこういち  
中川功一 著  
駒澤大学専任講師

# 技術革新のマネジメント

## 製品アーキテクチャによるアプローチ

A5判上製カバー付  
298頁  
●4,200円+税  
978-4-641-16372-0

音楽配信はレコード・CDを経てウェブヘシフト、自動車の動力はガソリンから電気へと変わりつつある——技術革新は、製品の設計構造を変え、企業内外の組織構造に変更を迫る。生き残りを賭ける製造企業に、真に必要とされることとは。日本産業の課題に挑む。

### 《主な目次》

- 第1章 技術変化から読み解く製造業企業の課題——問題設定  
第2章 技術変化に関する先行研究  
第3章 製品アーキテクチャとは何か  
第4章 製品アーキテクチャと企業・産業との関係に関する先行研究  
第5章 「企業の知識」概念の導入——理論的検討  
第6章 知識と製品アーキテクチャの基本的関係——統計分析  
第7章 製品アーキテクチャと企業・産業との関係の詳細記述  
——光ディスク・ドライブ産業の事例分析  
第8章 製品アーキテクチャ大転換期の知識マネジメント  
——TDKのHDD磁気ヘッド事業の事例分析より  
第9章 激しい製品アーキテクチャ変化への処方箋——三菱化学メディアの事例分析より  
第10章 結論——技術変化へのマネジメント

ふじもとたかひろ  
藤本隆宏 編  
東京大学教授

# 「人工物」複雑化の時代

## 設計立国日本の産業競争力

A 5判並製カバー付  
436頁  
●3,800円+税  
978-4-641-16399-7

環境問題、安全対策など地球規模でさまざまな制約に直面する今日、日本企業はどこに向かうべきか。この厳しい時代の雇用を支えるのは既存産業の進化した現場であり、企業はリスクとチャンスを冷静に見極めなければならない。日本の現場と産業が目指すべき道を示す。

《主な目次》

序章	なぜいま「人工物の複雑化」を論じるのか (藤本隆宏)	第6章	人工物の複雑化と設計プロセス (藤本隆宏・朴 英元)
第I部	基礎編 複雑化の論理	第II部	応用編 複雑化対応の諸相
第1章	複雑化分析のフレームワーク (藤本隆宏)	第7章	家電と自動車 (上野泰生)
第2章	人と人工物の分業と協業 (奥野正寛・渡邊泰典)	第8章	電子部品 (糸久正人)
第3章	複雑設計のシミュレーション分析 (大隈慎吾・藤本隆宏)	第9章	デジタル複合機 (福澤光啓)
第4章	アーキテクチャ研究再考 (立本博文)	第10章	複合加工機 (鈴木信貴)
第5章	「複雑化問題」への多面的対応 (藤本隆宏)	第11章	電源管理 (安本雅典)
		第12章	船舶開発と造船産業 (具 承桓・加藤寛之)
		終章	「複雑化時代」の企業と産業 (藤本隆宏)

# 顧客への同期化という生産革命の源流と実像に迫る

(2011年8月)

しもかわこういち さ たけひろあき  
下川浩一・佐武弘章 編  
法政大学名誉教授・福井県立大学名誉教授

# 日産プロダクションウェイ

## もう一つのものづくり革命

A 5判並製カバー付  
296頁  
●3,300円+税  
978-4-641-16378-2

ゴーン氏による改革が注目された日産プロダクションウェイ (NPW)。それは単なるコスト削減だけではなく、顧客への同期化という生産革命を伴うものであった。その実像を資料・調査をもとにその源流にさかのぼって明らかにし、トヨタシステムとの異同も示す。

《主な目次》

I	もう一つの生産革命とは——日産プロダクションウェイ (NPW)
第1章	同期化実験からNPWへ……………下川浩一
II	日産プロダクションウェイの起源——先駆けとしての「同期化実験」(1970年)
第2章	「同期化実験」(和田純三著)の今目的意義……………下川浩一
第3章	NPW成立の前身……………佐武弘章
III	日産プロダクションウェイ (NPW) とは——限らない顧客への「同期」
第4章	NPW「順序遵守生産」の理念……………佐武弘章
第5章	同期生産と部品納入方式……………藤本隆宏・呉在恒
IV	日産プロダクションウェイの展望——トヨタ生産システムとの対比
第6章	TPSとNPW……………佐武弘章
第7章	NPWと受注生産……………富野貴弘
第8章	総括と展望 グローバル時代へ向けての今後のNPW……………下川浩一

資料 「同期化実験」和田純三

にしざわあきお くつなけんじ ひばらのぶひこ さぶりまさたか わかばやしなおき かないかずより  
 西澤昭夫・忽那憲治・樋原伸彦・佐分利応貴・若林直樹・金井一頼 著  
 東北大学教授・神戸大学教授・早稲田大学准教授・京都大学准教授・京都大学教授・大阪商業大学教授、大阪大学名誉教授

# ハイテク産業を創る地域エコシステム

A5判並製力バー付  
 316頁  
 ●3,200円+税  
 978-4-641-16385-0

これまで国の政策支援（マクロ）と企業家活動（ミクロ）のどちらかの役割が重視されがちであった。世界の成功事例から、地域エコシステム（メゾ）を通じて、それらをうまく接合させていることを明らかにし、成長と集積を実現する地域能力の構築を検討する。

《主な目次》

- 序章 NTBFsによるハイテク産業形成
- I 地域エコシステムの機能と構築
  - 第1章 NTBFsとベンチャー企業
  - 第2章 クラスタ政策から地域エコシステム構築策へ
  - 第3章 地域エコシステム構築の現状と課題
- II 地域エコシステムの構築基盤
  - 第4章 イギリスにおけるNTBFs簇業とリスク・キャピタルの供給
  - 第5章 地域エコシステムにおけるVCセクターの創出及び機能
  - 第6章 NTBFs簇業と企業家行動
  - 第7章 地域エコシステム構築に向けた人的資源開発
  - 第8章 企業家活動と地域エコシステム構築プロセスのマイクロメゾ統合論
- III わが国における地域エコシステムの構築
  - 第9章 USモデルから「鶴岡の奇跡へ」

すずきよしたか  
 鈴木良隆 編  
 一橋大学名誉教授

# ソーシャル・エンタプライズ論

自立をめざす事業の核心

四六判並製力バー付  
 302頁  
 ●2,400円+税  
 978-4-641-16439-0

その時代や人びとに共通する課題のなかには、営利手段では解決困難なことが多い。新たな構想によって課題解決し、自立した事業として成り立たせるための方法とは何か。「社会事業」から現代まで跡付け、最新の事例を紹介しながら、核心に迫る。

《主な目次》

- はしがき (鈴木良隆)
- 第1部 背景
  - 第1章 企業と社会——社会とは何か、企業とは何か (鈴木良隆) 第2章 ソーシャル・エンタプライズの登場と背景 (西田亮介：立命館大学大学院)
- 第2部 課題、担い手、機会
  - 第3章 現代のソーシャル・エンタプライズ (西田亮介) 第4章 現代のソーシャル・アントルプルナー——ソーシャル・イノベーションの担い手として (土肥将教：高崎経済大学) 第5章 新たな課題、新たな担い手 (鈴木良隆) 第6章 ソーシャル・エンタプライズのフロンティア (土肥将教) 第7章 明日への取り組み——復興から地域再生へ (河野通洋：八木澤商店社長+鈴木良隆)
- 第3部 企業と社会のあいだ
  - 第8章 現代企業の社会意識 (由良聡：パブリックリソース財団シニアフェロー) 第9章 ソーシャル・アントルプルナーの源流——オウエンとサン・シモン＝ペレール (鈴木良隆) 第10章 日本における企業の出現と社会 (鈴木良隆) 第11章 日本におけるソーシャル・アントルプルナーの出現——洪沢栄一 (島田昌和：文京学院大学) 第12章 起業の思想、会社の方法——現代を洪沢に問う (鈴木良隆)

こじまひろみつ ひらもとけん た  
小島廣光・平本健太 編著

札幌学院大学教授・北海道大学教授  
北海道大学名誉教授

# 戦略的協働の本質

NPO、政府、企業の価値創造

A5判上製カバー付  
390頁

●4,500円+税

978-4-641-16370-6

NPO、政府、企業が、環境問題や人道支援など複雑で困難な課題を解決し、社会的価値を創造する新時代のプロセス——戦略的協働。著者らが独自に開発した包括的・統合的な「協働の窓モデル」による先駆的7事例の詳細な分析を通じ、戦略的協働の本質を解き明かす。

《主な目次》

- 第1部 戦略的協働の拡がり——事例研究の準備
  - 第1章 戦略的協働とは何か
  - 第2章 協働の窓モデルの導出
- 第2部 戦略的協働の実態——7つの先駆的事例とその分析
  - 第3章 北海道NPOバンク——NPOのためのNPOによる融資
  - 第4章 ジャパン・プラットフォーム——難民・被災民の迅速な人道支援
  - 第5章 霧多布湿原トラスト——湿原の保全による継続的なまちづくり
  - 第6章 パシフィック・ミュージック・フェスティバル——世界中の若手音楽家を集める教育音楽祭の開催
  - 第7章 グリーンフリーズ・キャンペーン——ノンフロン冷蔵庫による地球環境保護
  - 第8章 人道目的の地雷除去支援の会——地雷除去の体制づくりと現地への継承
  - 第9章 北海道グリーンファンド——市民が自ら生み出す再生可能エネルギー
- 第3部 戦略的協働の本質と本書の貢献
  - 第10章 結論——戦略的協働の本質

伝統産地の強さと生き残りの謎に、ビジネスシステムの視点で迫る！

(2013年7月)

やまだ こうぞう  
山田幸三 著  
上智大学教授

# 伝統産地の経営学

陶磁器産地の協働の仕組みと企業家活動

四六判並製カバー付  
278頁

●2,100円+税

978-4-641-16412-3

伝統産業は、なぜ生き残り続けることができたのだろうか？ 経営学・ビジネスシステムの視点からその仕組みを読み解く。代表的な陶磁器産地である有田、信楽を題材に、技術継承と人材育成、競い合い高め合うための暗黙のルール、ブランド構築の仕組みを明らかにする。

《主な目次》

- 第1章 伝統産地を見る眼——産地と経営学の視点
- 第2章 伝統産地とビジネスシステム
- 第3章 伝統産地と企業家活動
- 第4章 和様磁器のふるさと「有田」——産地のヘゲモニーと重層的な人材育成
- 第5章 大物陶器の伝統産地「信楽」——産地の変貌と企業家活動
- 第6章 競争が支える協働の仕組み——顧客への訴求力・競争の不文律・切磋琢磨



## 中国における日本企業の成功の「なぜ」を問う

(2013年10月)

いたみひろゆき

伊丹敬之 編著

東京理科大学教授、一橋大学名誉教授

# 日本型ビジネスモデルの中国展開

四六判上製カバー付  
436頁

●3,200円+税

978-4-641-16417-8

すぐ隣の巨大な成長市場・中国に、5000超の現地法人を持つ日本企業。苦戦することが少なくないといわれる中、成功例も見られるようになってきた。中国市場でユニークな成功を遂げる日本企業は、自らのビジネスモデルを、いかに移転しているのか。その論理に迫る。

### 《主な目次》

- 第1部 総論篇
- 第1章 日本型ビジネスモデルの中国展開 = 伊丹敬之
- 第2章 中国における日本企業 — 一つの鳥瞰図 = 藤原雅俊
- 第2部 事例分析篇
- 第3章 コマツ — GPSと現場の匠の育成 = 首藤聡一郎
- 第4章 ダイキン工業 — 空調文化を伝え、人基軸を貫く = 西野和美
- 第5章 クボタ — 顧客に張り付き、徹底サービス = 藤原
- 第6章 日産自動車 — 過去を活かした迅速構築 = 岸本太一
- 第7章 京セラドキュメントソリューションズ — フィロソフィを中国へ = 張又心パーバラ
- 第3部 論理構築篇
- 第8章 顧客インターフェイスの機能 — 情報と感情の流れを生み出す (事例: 広州ヤクルト) = 西野
- 第9章 補助的サービスの中核性 — 地味な差別化、豊かな成果 (事例: ヤマト運輸) = 藤原
- 第10章 思考・感情ベースという意外なファクター — 見えない下部構造を変える (事例: 資生堂) = 張
- 第11章 モデルの背後に流れる原理 — 人の成長と深い蓄積を活かす (事例: YKK) = 岸本
- 第12章 ビジネスモデルの再構成 — 環境を知り、環境を変えながらの翻訳 (事例: サイゼリヤ) = 首藤

## 海外子会社によるイノベーションの成否に迫る

(2014年4月)

ただかずみ

多田和美 著

近畿大学准教授

# グローバル製品開発戦略

日本コカ・コーラ社の成功と日本ペプシコ社の撤退

A5判上製カバー付  
276頁

●3,800円+税

978-4-641-16425-3

製品開発拠点として日本で成功したコカ・コーラと撤退したペプシコの事例から、製造業の成長を決定づける製品開発活動がグローバルな成果を生み出すまでのプロセスを、海外子会社の成長段階ごとに分析。継続的な自主製品開発を可能とする要因を明らかにする。

### 《主な目次》

- 第1章 研究の目的
- 第2章 研究枠組の提示
- 第3章 日本の清涼飲料市場
- 第4章 日本コカ・コーラ社の事例
- 第5章 日本ペプシコ社の事例
- 第6章 事例の分析と考察
- 第7章 結論
- 参考文献

## 労働市場の一翼を担う産業の実態

(2014年7月)

さとうひろき おおきえいいち  
佐藤博樹・大木栄一 編

東京大学教授・玉川大学教授

# 人材サービス産業の新しい役割

就業機会とキャリアの質向上のために

A5判並製カバー付  
344頁

●3,500円+税

978-4-641-16433-8

派遣・請負就業の比重が高まり、職業紹介業を通じた転職なども増える中、人材サービス産業は存在感を増す一方である。この産業は、現代日本でいかなる社会的機能を果たしているか。広範な実証研究で明らかにし、働く人・企業双方のために克服すべき課題に迫る。

### 《主な目次》

- 序 労働市場における需給調整の担い手としての人材サービス産業（佐藤博樹）
- 第1部 人材サービス産業による就業機会の質向上——働く人々の視点
- 第1章 事務系派遣スタッフのキャリア（島貫智行）
- 第2章 どうすれば時給が上がるのか（松浦民恵）
- 第3章 生産職種の請負・派遣社員の就業意識（佐野嘉秀）
- 第4章 生産分野の派遣スタッフの仕事・労働条件とキャリア、就業意識（島貫智行）
- 第2部 人材サービス産業が担う社会的機能——企業経営の視点
- 第5章 派遣会社の機能と課題（大木栄一・豊島竹男・横山重宏）
- 第6章 事務系派遣営業所の運営と課題（島貫智行）
- 第7章 労働派遣専門26業務適正化プランの影響（小林徹）
- 第8章 派遣先企業における管理職の人事管理（大木栄一・平田薫）
- 第9章 生産請負・派遣企業による雇用継続への取組み（佐野嘉秀・大木栄一）
- 第10章 職業紹介担当者の能力ならびにスキル（坂爪洋美）
- 第11章 未就職卒業者を対象とした人材ビジネス企業のマッチング機能（山路崇正）

## 学問の垣根を超えて「企業家」に迫る

(2014年7月)

みやもとまたお か このただお きぎょうかけんきゅう  
宮本又郎・加護野忠男・企業家研究フォーラム 編

大阪大学名誉教授・神戸大学名誉教授

# 企業家学のすすめ

四六判並製カバー付  
564頁

●3,800円+税

978-4-641-16434-5

経営学、経済史、経営史の第一人者7名（宮本又郎・加護野忠男・橘川武郎・角田隆太郎・金井一頼・沢井実・松島茂）の編集のもと、精鋭執筆陣による三十余のテーマで構成される。親切な解題付き文献ガイド、全国企業家ミュージアムのリストなど付録も充実。

### 《主な目次》

- 序 企業家学のすすめ（宮本又郎）
- I 企業家とはなにか（編集責任：橘川武郎） 企業家学の系譜／経営学からの企業家研究／経済学における企業家／経営史からの企業家研究
- II 企業家の輩出と活動（編集責任：角田隆太郎） 企業家の輩出基盤／産業集積における企業家／長寿企業・老舗の企業家／社内企業家に求められる資質／内なるアウトサイダーによる企業革新／起業家とスピノフほか
- III 企業家の諸類型（編集責任：金井一頼） 企業家のタイプ／社会企業家とは何か／企業家活動とクラスター形成／共同企業家／女性企業家ほか
- IV 企業家の役割（編集責任：沢井実） 技術者型企業家／組織者型企業家／ファイナンス／マーケティング／サービス／人的資源／経営理念提示型ほか
- V 企業家と社会（編集責任：松島茂） 企業家活動における官と民／コミュニティと企業家／エスニック企業家／企業家教育／企業家と社会活動ほか
- VI 企業家研究ガイド 文献ガイド／企業家ミュージアム案内

きつかわたけお しまだまさかず たなかかずひろ  
 橘川武郎・島田昌和・田中一弘 編著  
 一橋大学教授・文京学院大学教授・一橋大学教授

# 渋沢栄一と人づくり

A5判上製カバー付  
 284頁  
 ●3,200円+税  
 978-4-641-16408-6

社会企業家の先駆者ともいわれる渋沢栄一。彼の人材育成面での貢献（主にビジネス教育への支援活動）の詳細を解明し、それを促した資本主義観を析出、後発国の工業化や現代資本主義に示唆を与える。近代日本の商業教育の発展史・人材の輩出史としても興味深い。

- 《主な目次》
- 序章 渋沢栄一の人づくりに注目する理由（橘川武郎）  
 ——後発国工業化への示唆と資本主義観の再構築
  - 第1章 「合本」資本主義と高等教育への反映——東大・早稲田・一橋への支援（島田昌和）
  - 第2章 道徳経済合一説の真意——東京高等商業学校での講話から（田中一弘）
  - 第3章 教育支援活動の持続性（飯塚陽介）  
 ——東京高等商業学校への影響力の基盤とその変化
  - 第4章 商業教育制度の発展と私立商業学校への支援（島田昌和）  
 ——京華商業学校を中心として
  - 第5章 中等商業教育の普及と公立商業学校（山藤竜太郎）  
 ——横浜商業学校・名古屋商業学校とのかかわり
  - 第6章 女子高等教育による新しい社会と家庭の実現（山内雄気）  
 ——日本女子大学校に対する支持と尽力
  - 終章 資本主義・人本主義・合本主義（橘川武郎）  
 ——日本的経営の再生も視野に入れて

## 海外子会社 世界市場に羽ばたく

(2011年11月)

かわべのぶお  
 川邊信雄 著  
 文京学院大学学長

# タイトヨタの経営史

海外子会社の自立と途上国産業の自立

A5判上製カバー付  
 272頁  
 ●3,200円+税  
 978-4-641-16381-2

トヨタ自動車の海外子会社タイトヨタが、開発から販売・輸出までの自立した能力を身につけ、国内の圧倒的なシェアをもち、タイを代表する輸出企業としての地位を確立し、さらにタイの自立した自動車産業集積を形成するに至ったプロセスを描く力作。

- 《主な目次》
- 本書の構成
  - 第1章 自立化はなぜいかにして達成されたか
  - 第2章 タイ自動車産業におけるタイトヨタ
  - 第3章 トヨタ自動車のタイ市場への進出（1957～1977年）
  - 第4章 国産化への組織の対応と人事・教育制度の確立（1978～1985年）
  - 第5章 自動車市場の急速な拡大と自由化政策への対応（1985～1993年）
  - 第6章 アジア・カーの誕生と通貨危機（1994～2003年）
  - 第7章 輸出基地化とグローバル・スタンダードの確立（2004～2006年）
  - 第8章 環境問題と「エコカー」の開発（2007年～）
  - 第9章 発見事実と今後への課題

わたなべたつろう くほともかず ほら よりとし  
渡辺達朗・久保知一・原 頼利 編

専修大学教授・中央大学准教授・明治大学准教授

# 流通チャネル論

新制度派アプローチによる新展開

A 5判並製カバー付  
278頁

●3,600円+税

978-4-641-16383-6

新制度派アプローチによって、流通にかかわる組織間関係について、メーカーと流通業者の「協調」の側面を正面からとらえて展開。流通チャネルに関する最新の理論的枠組みの構築、モデル・実証分析、ケース分析を行う力作。ゼミテキストなどにも好個の1冊。

《主な目次》

- 序 章 流通チャネル研究の展開と課題 (渡辺達朗)
- 【第1部 理論】
- 第1章 新制度派的流通チャネル研究の展開 (久保知一)
- 第2章 チャネル・デザイン：取引費用と構造的慣性の問題 (原 頼利)
- 第3章 フランチャイズ方式と直営店方式の選択問題 (北島啓嗣・崔容薫)
- 【第2部 モデルと実証】
- 第4章 流通サービスのカスタマイジングと協調的關係 (小野見典・久保知一)
- 第5章 中国市場における日系販売企業の垂直統合度の決定要因 (丹沢安治・久保知一)
- 第6章 営業担当者の特性がチャネル関係の成果に及ぼす影響 (崔容薫)
- 第7章 卸売業者の買い手への依存度 (久保知一)
- 【第3部 歴史と現状】
- 第8章 メーカーのチャネル戦略における関係ケイパビリティの構築 (戸田裕美子)
- 第9章 自動車流通における企業境界の変化 (石川和男)
- 第10章 アパレル製品のチャネル選択問題 (北島啓嗣)
- 第11章 加工食品流通における卸売業者の行動と組織間関係 (渡辺達朗)
- 終 章 流通取引関係・制度の研究展望 (原 頼利)

## 政策の転換・移行は何をもたらしたのか

(2014年5月)

わたなべたつろう  
渡辺達朗 著  
専修大学教授

# 商業まちづくり政策

日本における展開と政策評価

A 5判上製カバー付  
278頁

●3,800円+税

978-4-641-16435-2

1990年代以降、日本の流通・商業政策は大きく変化してきた。こうした変化は、地域商業／社会に何をもたらしたのか。地域商業・商店街と地域コミュニティとの関係にも目を向けながら、この転換期の商業まちづくり政策を総点検し、今後の方向性を展望する。

《主な目次》

- 第1章 商業まちづくり政策論の課題と方法
- 第2章 「まちづくり3法」以前の商業まちづくり政策の展開——1970年代から1990年代中盤まで
- 第3章 「まちづくり3法」による商業まちづくり政策の転換——新しい政策理念と政策枠組みの模索
- 補論 都市中心部からの大型店等の撤退問題とまちづくりの取り組み——実態調査の結果をふまえて
- 第4章 タウンマネジメント機関 (TMO) の組織と機能——まちづくりの阻害要因に関連して
- 補論 アメリカにおけるダウンタウン再活性化と小売商業振興——自治体とまちづくり組織を軸にした協動的取り組み
- 第5章 商業まちづくり政策の転換をめぐる政策過程と政策理念——政策の窓モデルの視点
- 第6章 地域商業・商店街の魅力再構築の方向——市場・政策・社会の3つの調整機構の視点
- 第7章 商業まちづくり政策における政策評価——政策目標の設定と政策効果の測定・評価の方法
- 第8章 商業まちづくり施策の評価に関する実証的検討——青森における1990年代以降の政策実施過程
- 第9章 商業まちづくり政策の展望

## 顧客志向をいかにして実践に結びつけるか

(2012年4月)

くりき けい  
栗木 契 著  
神戸大学教授

# マーケティング・コンセプトを問い直す

状況の思考による顧客志向

A5判並製カバー付  
262頁  
●3,000円+税  
978-4-641-16394-2

市場において繰り返し誕生し消滅する「状況」が、マーケティングの実務と理論に及ぼす影響を解明し、経験至上主義と法則至上主義の見直しを鋭く迫る。いかなるアプローチが今後のマーケティング戦略に必要となるかを深く考察。マーケター、ビジネスパーソン必読。

《主な目次》

序章	状況の思考としてのマーケティング・コンセプト	4	まとめ
1	マーケティング・コンセプトを問い直す意味	第2章	事業システムの競争プロセス
2	本書の構成	第2部	戦略の感度
第1部	起ち上がる秩序	第3章	顧客志向の標的
第1章	マーケティングの生成を振り返る	第4章	プロットで読み解くマーケティング
1	マーケティングの現在	第3部	制御の迷宮
2	マーケティングの生成	第5章	競争行動の罟
3	マーケティングの基本図式	第6章	デザインの罟
		第7章	マーケティング・リサーチの罟

## 研究者は現実をどのように捉え、対峙し、対話すべきか

(2011年3月)

みずこしこうすけ  
水越康介 著  
首都大学東京准教授

# 企業と市場と観察者

マーケティング方法論研究の新地平

A5判上製カバー付  
286頁  
●3,500円+税  
978-4-641-16379-9

マーケティング方法論研究における共約不可能性をめぐる議論から、マーケティングや経営の新しい方法論を深く検討。研究における観察と時間の捉え方を再考した上で、現象をいかに捉えるべきかを考察し、事例研究がはたす役割とともに、その方法を提示する。

《主な目次》

第I部	企業・市場と観察者	文書の意義	
第1章	マーケティング方法論研究の展開	第III部	企業と市場
第2章	共約不可能性をめぐる方法論競争	第7章	交換概念の再検討
第3章	共約不可能性のパラドクス	第8章	取引総数の増大
第II部	観察と時間	第9章	間接経営戦略の再検討
第4章	超越論性と先行性	第10章	実践概念と意図せざる結果
第5章	コミュニケーションの事後成立性	第IV部	観察者と企業・市場
第6章	マーケティング史研究における	第11章	科学論を超えて
		第12章	ビジネススクールの可能性
		第13章	ヴィヴィフィケーションとしての事例研究

やましたゆうこ ふくとみ げん ふくち ひろゆき うえはら わたる さ さ き まさ と  
 山下裕子・福富 言・福地宏之・上原 渉・佐々木将人 著

一橋大学准教授・京都産業大学准教授・東洋学園大学専任講師・一橋大学准教授・一橋大学講師

# 日本企業のマーケティング力

A 5判上製カバー付  
 294頁  
 ●3,600円+税  
 978-4-641-16398-0

日本企業のマーケティング戦略は業績に結びついているか。あるいは、そもそもマーケティング戦略はきちんと立案・実行されているか。また、販売の最前線にいる営業との関係はどうなっているか。250近くの事業体の実態を明らかにし、問題点克服への道を探る。

《主な目次》

- 序章 今、なぜ「マーケティング力」なのか——戦略と組織
- 第1部 問題意識と調査の概要
  - 第1章 マーケティング研究の射程——問題意識の変遷と日本企業
  - 第2章 調査の概要——対象企業のプロフィール
- 第2部 日本企業に「マーケティング戦略」はあるのか
  - 第3章 マーケティング戦略の策定——欧米流のマーケティングは日本企業でも成果をもたらすのか
  - 第4章 4Pはどう決められているか——STPから導かれるマーケティング・ミックス
- 第3部 マーケティング戦略を支える組織プロセス
  - 第5章 「強い営業」のジレンマ——営業活動はマーケティング戦略を支えるのか
  - 第6章 マーケティング戦略を補完する事後対応——営業の現場対応と戦略変更
  - 第7章 戦略策定のためのマーケティング・インテリジェンス——広告代理店との連携と依存
- 第4部 マーケティング戦略を左右する組織パワー
  - 第8章 マーケティング戦略は誰が決めているのか——マーケティング部門の影響力
  - 第9章 マーケティング戦略はどこで決めるべきか——海外進出と現地法人の影響力
- 終章 日本企業のマーケティング力——危機からの再生のために

## 世界一タフな消費者——その構造に迫る

みうらとしひこ  
 三浦俊彦 著

中央大学教授

# 日本の消費者はなぜタフなのか

A 5判上製カバー付  
 392頁  
 ●4,300円+税  
 978-4-641-16421-5

日本的・現代的特性とマーケティング対応

日本の消費者はきわめてタフ（厳しく、敏感）である。そのメカニズムについて日本文化の特性や海外の消費者との比較調査結果などをふまえ、包括的かつ実証的に検証する。日本の消費者の特徴を解明したうえで、マーケティング戦略をも指し示す待望作。

《主な目次》

- 序章 問題意識と全体の枠組み：日本の消費者を解明する
- 第I部 日本の消費者のタフさのメカニズム
  - 第1章 規範フィルター論：規範意識と選択肢の多様性
  - 第2章 清浄価値論と2つの集団主義：品質に厳しい日本の消費者のメカニズム
  - 第3章 感情型属性流行論：日本的流行のメカニズム
  - 第4章 日本の消費者の文化的起源：クール・ジャパンの源流
- 第II部 日本の消費者の現代的特性
  - 第5章 情報非対称性の低下と高知識消費者
  - 第6章 消費の二極化と自己実現・自己超越消費者
  - 第7章 インターネット時代のユビキタス消費者
  - 第8章 現代の満足構造とUnsatisfaction消費者
- 第III部 日本の消費者へのマーケティング対応
  - 第9章 7つのマーケティング戦略と2つのブランド戦略：日本の消費者に適合する戦略
- 終章 消費者行動のグローバルな理論構築へ向けて

くほ たゆきひこ  
久保田進彦 著  
東洋大学教授

# リレーションシップ・マーケティング

コミットメント・アプローチによる把握

A5判上製カバー付  
286頁  
●4,000円+税  
978-4-641-16400-0

多領域にまたがって複雑に理論展開されているリレーションシップ・マーケティング——その中核的な概念や基盤的理論について検討したうえで、各概念を有機的に結びつけ、全体像を体系的にとらえる力作。2013年度日本商業学会奨励賞受賞。

《主な目次》

- 第1部 問題提起と研究スタンスの明確化
  - 第1章 研究の対象と目的
  - 第2章 関係、相互作用、リレーションシップ
  - 第3章 リレーションシップ・マーケティングの諸相
- 第2部 リレーションシップ・コミットメントの理解
  - 第4章 コミットメント概念の理解
  - 第5章 リレーションシップ・コミットメント
  - 第6章 コミットメント形成の基本構図
- 第3部 リレーションシップ・コミットメントの形成要因

- 第7章 計算的コミットメントの形成要因
  - 第8章 関係的資源、不確実性、機会主義的行動
  - 第9章 感情的コミットメントの形成要因
  - 第4部 リレーションシップ・マーケティングの全体的理解
    - 第10章 多次元のコミットメント・モデル
    - 第11章 多次元のコミットメント・モデルの拡張
    - 第12章 リレーションシップ・マーケティングの実践
- むすび

しふ や さとる  
澁谷 覚 著  
東北大学教授

# 類似性の構造と判断

他者との比較が消費者行動を変える

A5判上製カバー付  
398頁  
●4,500円+税  
978-4-641-16415-4

人々はどうのときに、他者との間またはモノとモノとの間に類似性を見出すのか？ 見出された類似性はどのように行動を変えるのか？ 膨大な先行研究を精査し、新たに構築する判断メカニズムと実証実験から、消費者行動とマーケティングへ活用を探索する。

《主な目次》

- 第I部 人々の間の類似性
    - 第1章 類似性の次元と類似性をもたらす効果
    - 第2章 人々の間の類似性と非類似性
  - 第II部 類似性の判断プロセス
    - 第3章 対象間の類似性判断のプロセス
    - 第4章 人々の間の類似性判断のプロセス
    - 第5章 人々の間の類似性と対象間の類似性
    - 第6章 自他の類似性判断における帰納推論の実証実験
- 終章 人々の間の類似性とマーケティング

## 日本の製造業には何が足りないのか？

(2014年5月)

わしだ ゆういち  
鷲田祐一 著  
一橋大学准教授

# デザインがイノベーションを伝える

デザインの力を活かす新しい経営戦略の模索

四六判並製力バー付  
256頁  
●2,000円+税  
978-4-641-16436-9

アップルやIKEAの製品が優れたデザインで世界的な成功を収める中、日本企業の多くが技術偏重でデザインを軽視しがちなのはなぜなのか。製品開発におけるデザインの重要性和、企業経営における可能性を、事例も踏まえつつ、マーケティングの視点から提示する。

《主な目次》

- 第1章 日本の「デザイン」関連産業の今
- 第2章 なぜ日本ではデザインが競争力として活かされなくなったか
- 第3章 中国で起きていること
- 第4章 伝統工芸産業で起きていること
- 第5章 デザイナーの人材育成とキャリア形成の問題
- 第6章 デザインの力を経営戦略に活かすために——5つの視点

## サービスを通して収益を上げるコツがわかる！

(2014年6月)

みなみち え こ にしおかけんいち  
南知恵子・西岡健一 著  
神戸大学教授・関西大学准教授

# サービス・イノベーション

価値共創と新技術導入

四六判並製力バー付  
344頁  
●2,300円+税  
978-4-641-16446-8

いかに革新的なサービスを創出し、収益化につなげるのか——最新の知見に基づき、概念的な整理を行ったうえで、先進事例を紹介し、具体的に議論を展開する待望作。実務に役立つ視点を数多く盛り込み、生産性を向上させ、収益化を導く戦略を明らかにする。

《主な目次》

- 序 章 サービス・イノベーションへのアプローチ
- 第1部 理論編：サービス・イノベーションと顧客価値
- 第1章 サービスにおける顧客満足と顧客価値
- 第2章 価値共創とは何か
- 第3章 サービス・オペレーションと顧客満足
- 第4章 サービスにおける新技術導入
- 第5章 製造業のサービス化アプローチ：サービタイゼーション
- 第2部 事例編：サービス・イノベーションの実現
- 第6章 サービス・オペレーションの革新とネットワークング：タビオの事例
- 第7章 サービス・オペレーション設計と顧客価値：クライ社「エコ・ポイント」の事例
- 第8章 技術革新によるサービス・オペレーション再設計：ベイシアと高千穂交易の事例
- 第9章 技術革新による新サービス開発：GMAPコンサルティング社の事例
- 第10章 サービス・イノベーション：ダイキン・ヨーロッパ社の事例
- 終 章 顧客価値を実現するサービス・イノベーション



## 地域を「売り込む」発想法とは？

(2011年12月)

ふるかわいちろう  
古川一郎 編  
一橋大学教授

# 地域活性化のマーケティング

四六判上製力バー付  
294頁  
●2,400円+税  
978-4-641-16391-1

過疎・高齢化などに苦しむ地域も、マーケティングの考え方をふまえて“経営”すれば、活力を取り戻せる！「日本マーケティング大賞」受賞ケースを中心とした優れた事例の分析が示す、その要訣とは。人任せでなく、地域を何とかしたいと願う人へのヒントとエール。

### 《主な目次》

- 序章 地域活性化のマーケティング [古川一郎]  
第1部 新市場の創造  
第1章 B-1グランプリ——「食」を梃子にした地域活性化 [古川一郎]  
第2章 いろどり——過疎地発の葉っぱビジネス [古川一郎・菌部靖史]  
第2部 交流の場づくり  
第3章 まいど1号——社会関係資本再生のマーケティング [古川一郎・菌部靖史]  
第4章 サイバーシルクロード八王子——人々をつなぐITプラットフォーム [菌部靖史]  
第5章 日本創生ビレッジ——異業種交流によるビジネスの創出 [上原渉]  
第3部 外部資源の取り込み  
第6章 大地の芸術祭・瀬戸内国際芸術祭——現代アートが媒介する地域づくり [金春姫]  
第7章 直島——外部資源による観光開発のベスト・プラクティス [鎌田裕美]  
終章 きらめく地域ブランドを創ろう [古川一郎]

## 有斐閣選書

(2012年3月)

ふなばしはるとし はせがわこういち いいじまのぶこ  
船橋晴俊・長谷川公一・飯島伸子 著  
法政大学教授・東北大学教授・元東京都立大学教授

# 核燃料サイクル施設の社会学

青森県六ヶ所村

四六判並製力バー付  
410頁  
●2,400円+税  
978-4-641-28126-4

青森県六ヶ所村での長期にわたるフィールドワークをもとに、日本社会が直面している原発問題を考える。東日本大震災以降の社会を見据え、歴史的な文脈を紹介し、原子力発電に必要なとされる核燃料サイクル施設が内包する問題を、六ヶ所村での調査事例を中心に議論する。

### 《主な目次》

- 序章 むつ小川原開発と核燃料サイクル施設の歴史を解明する視点  
第一章 巨大開発から核燃基地へ  
第二章 開発の性格変容と計画決定のありかたの問題点  
第三章 大規模開発下の地域社会の変容  
第四章 開発による人口・経済・財政への影響と六ヶ所村民の意識  
第五章 原子力エネルギーの難点の社会的検討  
第六章 地域社会と住民運動・市民運動  
第七章 女性の環境行動と青森県の反開発・反核燃運動  
第八章 日本の地域開発史における六ヶ所村開発の位置づけ  
第九章 日本の原子力政策と核燃料サイクル施設  
巻末資料／索引

## 変化を求められる公共政策。社会学に何ができるか。 (2012年6月)

たけがわしょうご  
武川正吾 著  
東京大学教授

# 政策志向の社会学

福祉国家と市民社会

四六判上製カバー付  
354頁  
●3,300円+税  
978-4-641-17386-6

グローバル化、脱工業化、個人化する社会において、公共政策の役割はますます大きくなっている。公共政策の企画・実施・評価という過程で、積極的な貢献を求められている「政策志向の社会学」の確立を提起する書。政策理念と個別政策に焦点を当てて解説する。

### 《主な目次》

- 第1章 公共政策における社会学——公共社会学のために
- 第2章 21世紀型の社会政策——20世紀的前提を問う
- 第3章 福祉社会のガバナンス——多元主義とレジーム
- 第4章 セーフティネットかナショナルミニマムか——社会政策の理念
- 第5章 生活保障システムの危機——雇用の流動化と家族
- 第6章 社会政策における福祉と就労——ワークフェアの内実
- 第7章 高齢者ケアの政策——介護保険と地域福祉
- 第8章 年金社会学の構想——社会政策における信頼
- 第9章 縮小社会における地域——地域社会学と地域福祉学
- 第10章 ローカル・ガバナンスと地域福祉——地方自治の学校
- 第11章 ベーシック・インカム——ピースミールとユートピアの弁証法
- 第12章 高福祉高負担の社会意識——福祉国家の可能性
- 第13章 社会政策学会の再々出発——公共政策の刷新

## 日本再構築への示唆を与える

(2014年1月)

おおさわ まり  
大沢真理 著  
東京大学教授

# 生活保障のガバナンス

ジェンダーとお金の流れで読み解く

A5判並製カバー付  
458頁  
●3,700円+税  
978-4-641-17394-1

1980年代以降の生活保障システムを詳細なデータを基に跡づけ分析し、日本の社会・経済の脆弱性を照らし出す。特に貧困や地域格差など偏ったお金の流れ、個人々の「生きにくさ」がジェンダーと深く関わっていることを明らかにする。迫力ある著者待望の書。

### 《主な目次》

- 序 論 危機や災害に脆い社会
- 第1章 所得の格差・動態にかんするデータ——マイクロとマクロ
- 第2章 生活保障システムというアプローチ
- 第3章 福祉レジーム論をふりかえる
- 第4章 生活保障システムの3類型と日本
- 第5章 「失われた20年」のガバナンスの推移
- 第6章 「失われた20年」の始まり——1990年代のガバニング
- 第7章 小泉改革とはなんだったか——2000年代のガバニング
- 第8章 生活保障システムの比較ガバナンス——2000年代の日本の座標
- 終 章 グッド・ガバナンスに向けて

かわぐち あきら  
川口 章 著  
同志社大学教授

# 日本のジェンダーを考える

四六判並製力バー付  
236頁  
●1,900円+税  
978-4-641-28132-5

私たちは「男は仕事、女は家庭」という意識にとらわれていないだろうか。ジェンダー格差を明らかにするとともに、少子高齢化の現在、企業、社会のとるべき施策を展望する。就職、結婚、子育て、キャリア形成など、働き方に悩む女子へのメッセージ。男子も必見。

《主な目次》

- 第1章 男らしさ・女らしさ
- 第2章 教育
- 第3章 就職とキャリア形成
- 第4章 結婚
- 第5章 出産と子育て
- 第6章 性別分業
- 第7章 正規労働者と非正規労働者
- 第8章 日本の雇用制度と女性差別
- 第9章 日本が変わるために

## データにもとづく組織の比較文化論

(2013年10月)

G. ホフステード・G. J. ホフステード・M. ミンコフ 著 <sup>いわいはちろう いわいのりこ</sup> 岩井八郎・岩井紀子 訳  
リンブルフ大学名誉教授・ワーゲニンゲン大学准教授・ブルガリア国際大学准教授 京都大学教授・大阪商業大学教授

# 多文化世界 原書第3版

A5判並製力バー付  
516頁  
●3,900円+税  
978-4-641-17389-7

違いを学び未来への道を探る

世界価値観調査をはじめ、各国での意識調査や統計データをもとに、組織と人間を比較文化的に分析する。名著として評価された初版から大幅に加筆・修正がなされ、国際的な比較分析の幅はますます拡がり、理論的なパースペクティブはさらなる深みへ到達する。

《主な目次》

- 第I部 文化という概念
  - 第1章 社会というゲームの規則
  - 第2章 文化の違いを研究する
- 第II部 国民文化の次元
  - 第3章 平等？ 不平等？
  - 第4章 私・われわれ・やつら
  - 第5章 男性・女性・人間
  - 第6章 違うということは、危険なことである
  - 第7章 昨日、今、これから？
  - 第8章 明るい？ 暗い？

- 第III部 組織文化
  - 第9章 ピラミッド・機械・市場・家族——国境を越える組織
  - 第10章 象とコウノトリ——組織文化
- 第IV部 共生への道
  - 第11章 異文化との出会い
  - 第12章 文化の進化

## なぜ新自由主義が社会を動かすのか？

(2014年3月)

まさむらとしゆき

正村俊之 著

東北大学教授

# 変貌する資本主義と現代社会

貨幣・神・情報

四六判並製カバー付  
256頁

●2,100円+税

978-4-641-17397-2

加速する新自由主義の下で、市場原理は政治や教育の領域にまで浸食する。本書は「貨幣」の人と人をつなぐ機能に注目し、現代社会の流通現象を原理的な面から分析、貨幣が擬似的なメディアとしていかに経済以外の社会領域を動かすのか、社会学理論から明らかにする。

《主な目次》

はじめに 資本主義の現在

第1章 近代資本主義とは

第2章 資本主義の二〇世紀的変容

第3章 貨幣の考古学

第4章 市場と金融

第5章 恐慌の歴史とメカニズム

第6章 生産優位から金融優位へ

第7章 機能分化の再編——新自由主義的な教育改革の帰結

むすび 自己組織化のゆくえ

## 「社会の心」を計量する

(2014年6月)

きっかわ とおる

吉川 徹 著

大阪大学教授

# 現代日本の「社会の心」

計量社会意識論

四六判上製カバー付  
268頁

●2,300円+税

978-4-641-17398-9

私たちは、いまどのような社会を心に描き、いかなる価値に基づいて生きているのだろうか。本書はそうした「社会の心」の姿を調査データから論じる。「総中流」や「格差」など、人々が心に描いてきた社会の変化を計量社会学から再検証し、更新する最新の現代社会論。

《主な目次》

序章 「社会の心」を計量する

第4章 総中流現象の正体

第I部 社会意識論の再構築

第5章 総中流社会から総格差社会へ

第1章 社会意識の捉え方

第III部 オリエンテーションのゆくえ

第2章 計量社会意識論の作法

第6章 伝統-近代主義の静かな退役

第II部 アイデンティフィケーションの

第7章 主義なき時代

軌跡

第8章 QOL志向の密かな時代変化

第3章 一九八五年の日本

終章 覚醒性・直結性・再帰性

## クリティカルな思考を育て、大学生の力を引き出す (2011年9月)

くすみ たかし こやすますお みちた やすし  
楠見 孝・子安増生・道田泰司 編  
京都大学教授・京都大学教授・琉球大学教授

# 批判的思考力を育む

## 学士力と社会人基礎力の基盤形成

A5判並製力バー付  
258頁  
●3,100円+税  
978-4-641-17380-4

今、学習者・社会人として必須の「批判的思考力（クリティカルシンキング）」の育成が教育現場に求められている。思考のしくみ、発揮しやすい条件、測定・評価の方法などを明らかにし、第Ⅱ部では大学教育での授業実践から導き出された「育成のポイント」を紹介する。

### 《主な目次》

#### 第Ⅰ部 批判的思考のしくみ——理論編

第1章 批判的思考とは——市民リテラシーとジェネリックスキルの獲得／第2章 批判的思考力の知的側面——学士力をどう獲得するか／第3章 批判的思考の社会的側面——批判的思考と他者の存在／第4章 批判的思考と適応——批判的思考がとくに必要な状況／第5章 批判的思考の抑制——なぜ発揮されないか／第6章 批判的思考の測定——どのように測定し評価できるか

#### 第Ⅱ部 批判的思考力を育てる——育成編

第7章 批判的思考の教育／第8章 良き市民を目指す批判的思考教育／育成事例① 疑似科学をめぐる懐疑的・批判的思考法／② 消費者教育のための批判的思考能力の開発／③ 科学技術と社会をつなぐ哲学的思考法／④ インターナショナルプログラムにおける批判的思考教育の実践／第9章 良き学習者を目指す批判的思考教育／育成事例⑤ 結論を考えさせてからおこなう講義／⑥ 心理学実験を経験してレポートを産出する／⑦ 質問力向上を目指した講義／⑧ 内省力の育成／⑨ 多様な学びのコースを複合的に利用する論文講読／終章 生涯にわたる批判的思考力の育成

## 仕事の熟達に、終わりはないが、方法はある (2012年3月)

かない としひろ くすみ たかし  
金井壽宏・楠見 孝 編  
神戸大学教授・京都大学教授

# 実践知

## エキスパートの知性

四六判並製力バー付  
370頁  
●2,400円+税  
978-4-641-16386-7

どんな分野にも、よい経験を豊かに積み、同輩や後進の範となる熟達者がいる。誰もがそうなれる可能性をもっているのなら、誰にとっても有益な形で、そこへの道を示せないだろうか？ 心理学・組織論が蓄積してきた調査・研究が、働く人の普遍的な課題に挑む。

### 《主な目次》

#### 第Ⅰ部 実践知——獲得と継承のしくみ

第1章 実践知と熟達者とは（楠見 孝）  
第2章 実践知の獲得——熟達化のメカニズム（楠見 孝）  
第3章 実践知の組織的継承とリーダーシップ（金井壽宏・谷口智彦）

#### 第Ⅱ部 エキスパートの仕事場から

第4章 組織の中で働くエキスパート  
Expert 4-1 営業職（松尾 睦）／Expert 4-2 管理職（元山年弘・金井壽宏・谷口智彦）／Expert 4-3 IT技術者（平田謙次）  
第5章 人を相手とする専門職  
Expert 5-1 教師（坂本篤史・秋田喜代美）／Expert 5-2 看護師（勝原裕美子）  
第6章 アートに関わるエキスパート  
Expert 6-1 デザイナー（松本雄一）／Expert 6-2 芸舞妓（西尾久美子）／Expert 6-3 芸術家（横地早和子・岡田 猛）  
終章 熟達化領域の実践知を見つけ活かすために（金井壽宏）

ふじむらのぶゆき  
藤村宣之 著  
東京大学教授

# 数学的・科学的リテラシーの心理学

子どもの学力はどう高まるか

A 5判並製力バー付  
228頁  
●2,800円+税  
978-4-641-17388-0

PISA調査，TIMSS調査，全国学力・学習状況調査，独自の国際比較研究などから見てきた，日本の子どもたちの数学的リテラシーと科学的リテラシーの実態とは。リテラシーの育成に関する協同的探究学習を用いた実践研究も紹介。発達と学習に関心をもつ多様な層に。

《主な目次》

- 第1章 教育心理学の視点からリテラシーを考える
- 第I部 リテラシーの現状と学力モデル
- 第2章 数学的リテラシーの現状：国際比較調査の心理学的分析
- 第3章 科学的リテラシー・読解力の現状：国際比較調査の心理学的分析
- 第4章 学力の心理学的モデル
- 第II部 数学的リテラシーの国際比較
- 第5章 数学的リテラシーの国際比較I：中国，アメリカ合衆国と日本
- 第6章 数学的リテラシーの国際比較II：シンガポール，中国と日本
- 第III部 数学的・科学的リテラシーの育成
- 第7章 「わかる学力」としてのリテラシーを高めるには：協同的探究学習の提案
- 第8章 数学的リテラシーを高めるにはI：小学校算数における協同的探究学習
- 第9章 数学的リテラシーを高めるにはII：中学校数学における協同的探究学習
- 第10章 科学的リテラシーを高めるには：中学校理科における協同的探究学習
- 第11章 数学的・科学的リテラシーの育成とこれからの日本の教育

なかや ちかずや  
中谷内一也 編  
同志社大学教授

# リスクの社会心理学

人間の理解と信頼の構築に向けて

A 5判並製力バー付  
306頁  
●3,000円+税  
978-4-641-17387-3

人間が生み出してきた道具や科学技術には，ベネフィットとリスクがある。道具や科学技術の扱いを考えるためには，ベネフィットやリスクの把握だけでなく，人間の認知・感情や社会性への理解が必要となる。社会心理学から，リスクと人間・社会について考える。

《主な目次》

- 第I部 リスク認知
- 第1章 リスク認知の基盤
- 第2章 リスク認知の各論的特徴
- 第3章 リスク認知と感情
- 第4章 リスク認知の個人差
- 第5章 科学技術的なリスク・アセスメントの基本的な考え方とアプローチ
- 第6章 一般人と専門家の溝
- 第II部 リスクと社会
- 第7章 リスク情報の社会的伝搬とその波及効果
- 第8章 マスメディアのリスク情報とオー
- 第9章 デイエンスの受容  
マスメディアの災害報道と社会の反応
- 第10章 リスク・コミュニケーション
- 第11章 リスクに社会はどう対すべきか
- 第12章 リスクと信頼

◎執筆者——中谷内一也，竹村和久，広田すみれ，上市秀雄，谷口武俊，小杉素子，元吉忠寛，福田充，釘原直樹，吉川肇子，藤井聡，江守正多，白井伸之介，島田貴仁，大木聖子，岸本充生，横山広美，前田恭伸，小出重幸，三浦麻子，安藤弥生，小林傳司

しのはらかずみつ なかむらたかひろ  
**篠原一光・中村隆宏 編**  
 大阪大学准教授・関西大学教授

# 心理学から考えるヒューマンファクターズ

安全で快適な新時代へ

A5判並製力バー付  
308頁

●2,600円+税

978-4-641-18411-4

安全で快適な科学技術や社会システムを構築するためには、それらを扱う人間の行動・特性の理解が欠かせない。ヒューマンファクターズに関する諸問題を、個人レベルから集団レベルまで包括的に、心理学的観点からとらえ直す。

《主な目次》

- |                         |                                      |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 第1章 現代社会とヒューマンファクターズ    | にとらえ直す                               |
| 第2章 知覚・認知特性とヒューマンファクターズ | 第8章 高齢者とヒューマンファクターズ<br>——人工物との関係において |
| 第3章 認知とヒューマンエラー         | 第9章 障害者支援とヒューマンファクターズ                |
| 第4章 わかりやすさとは何か          | 第10章 心理生理学的アプローチ                     |
| 第5章 使いやすさとは何か           | 第11章 個人と組織の社会的行動                     |
| 第6章 バーチャル空間とコミュニケーション行動 | 第12章 リスク・コミュニケーションとヒューマンファクターズ       |
| 第7章 適性——歴史を踏まえ、統合的      | 第13章 現実場面でのアプローチ                     |

## 理論的考察の高みへ

(2011年11月)

なかじまよしあき  
**中島義明 著**  
 早稲田大学教授

# 映像心理学の理論

A5判上製力バー付  
510頁

●6,700円+税

978-4-641-17382-8

映像の情報処理についての内外の知見を、ワーキングメモリ理論、処理資源理論、事象の構造化理論、基準理論、文脈効果の理論、音楽の認知理論の枠組みに位置づけ、認知心理学の観点からの理論的体系化を行った力作。今後の映像情報処理研究の理論的指針がいま結実。

《主な目次》

- 第I部 「映像心理学」序論
- 第II部 「ワーキングメモリ理論」に基礎を置くモデル
- 第III部 「処理資源理論」に基礎を置くモデル
- 第IV部 「事象の構造化理論」に基礎を置くモデル
- 第V部 「基準理論」に基礎を置くモデル
- 第VI部 「文脈効果の理論」に基礎を置くモデル
- 第VII部 「音楽の認知理論」に基礎を置くモデル

